

教科	国語	科目	現代の国語			単位数	2単位
学科	工業科	履修学年	1 学年	コース		必修・選択	必修
教科書	『精選現代の国語』 第一学習社						
副教材等	『新版七訂 新訂総合国語便覧』 第一学習社 『常用漢字ダブルクリア 四訂版』 尚文出版						

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
指導の重点	(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

学期 (時数)	学習項目	学習内容(学習活動)		評価方法
1 学期 (20)	「生きもの」として生きる(中村桂子) 評論のしるべ 1. 話すこと聞くこと(2) 2. 書くこと(1) 3. 読むこと(1)	・筆者の提案する人間の生き方について、文章構成をもとに把握し、自分に照らして考えを深める。 ・ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・例示などの修辞を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿ってまとめようとしている。 ・個別の情報をもとに一般化しているかを進んで捉え、学習課題に沿って説明しようとしている。 ・筆者の提言に対する考えを積極的に考え、表現の仕方を工夫して書こうとしている。	b b a a a c c c	定期考査や小テストの成績、授業中の態度・発表、レポート等各種提出物、振り返りシートなどから総合的に判断し、評価する。
	「本当の自分」幻想(平野啓一郎) 評論のしるべ 1. 話すこと聞くこと(2) 2. 書くこと(2) 3. 読むこと(1)	・主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための論の展開について考える。 ・自己と他者について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ・反論を示すことによって自分の主張の正しさを補強する推論の仕方を理解し、粘り強く論理の展開を把握しようとしている。 ・積極的に本文中に根拠を求め、筆者の主張に対する自分の考えを、表現の仕方を工夫して書こうとしている。	b b a a a c c	
	水の東西(山崎正和) 評論のしるべ 1. 話すこと聞くこと(1) 2. 書くこと(2) 3. 読むこと(2)	・東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。 ・東西の文化を比較して述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・調べたことを整理して、説明資料にまとめる。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続のしかたを理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。 ・個別の情報を一般化する筆者の論理について自分の考えをもち、表現を工夫してまとめようとしている。 ・水を用いた芸術や仕掛けについて積極的に題材を探し、表現の仕方を工夫して説明しようとしている。	b b b a a a c c c	

2 学期 (24)	<p>法律の改正に関わる文章を読み比べる</p> <p>2. 書くこと(1)</p> <p>3. 読むこと(1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・改正前後の法律文を読み比べて必要な情報を読み取り、複数の文章を関連づけながら理解したことをまとめる。 ・情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたを理解し、活用する。 ・異なる形式で書かれた複数の文章を粘り強く読み、理解したことを学習課題に沿ってまとめようとしている。 ・複数の文章から読み取った情報を粘り強く吟味し、表現の仕方を工夫してまとめようとしている。 	b a c c	
	<p>話し方の工夫</p> <p>1. 話すこと聞くこと(2)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 ・相手・目的・場面に応じた言葉遣いを理解する。 ・積極的に話し言葉と書き言葉の違いを理解し、学習課題に沿って話し合おうとしている。 ・積極的に場の状況に応じて言葉遣いを選び、学習課題に沿って使おうとしている。 ・積極的に婉曲的な表現を用い、学習課題に沿って使おうとしている。 ・積極的に伝わりやすい表現を考え、学習課題に沿って説明や発表をしようとしている。 	b b c c c c	
	<p>書き方の基礎レッスン</p> <p>2. 書くこと(2)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・表記・表現の基本ルールを理解する。 ・接続表現の種類や用法を理解する。 ・比喩などの表現技法を理解する。 ・進んで表記・表現の基本ルールを理解し、正確で分かりやすい文を書こうとしている。 ・学習の見通しをもって接続表現の種類や用法を理解し、適切な接続表現を選ぼうとしている。 ・効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につけようとしている。 	a a a c c c	
	<p>ものごとくば（鈴木孝夫）評論のしるべ</p> <p>1. 話すこと聞くこと(1)</p> <p>2. 書くこと(3)</p> <p>3. 読むこと(1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・具体（例示）と抽象（意見）の関係を整理して論理構成を把握し、筆者が主張する言語の性質を理解する。 ・言語について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・言葉には、認識や思考を支えるはたらきがあることを理解する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続のしかたを理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ・具体例を示しながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って整理しようとしている。 ・言葉が認識や思考を支えることについて、他のテキストと進んで読み合わせ、説明の仕方を工夫して、理解したことを報告しようとしている。 	b b b a a a a c c	定期考査や小テストの成績、授業中の態度・発表、レポート等各種提出物、振り返りシートなどから総合的に判断し、評価する。
	<p>現代の「世論操作」（林香里）評論のしるべ</p> <p>1. 話すこと聞くこと(2)</p> <p>2. 書くこと(2)</p> <p>3. 読むこと(1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報操作の具体例を通して筆者が提起する課題を理解し、メディア社会に生きる者として問題意識を持つ。 ・情報やメディアの現状について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿ってまとめようとしている。 ・個別の情報をどのように一般化しているかを進んで捉え、学習課題に沿って説明しようとしている。 ・現代社会の課題を把握し、根拠の示し方や説明の仕方を考えて書こうとしている。 	b b a a a c c c	

	<p>「文化」としての科学</p> <p>1. 話すこと聞くこと(2)</p> <p>2. 書くこと(3)</p> <p>3. 読むこと(1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者が主張する科学と技術の違いを対比的に整理し、現状における科学と技術の関係を理解する。 ・科学技術について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する方法を学ぶ。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ・学習課題に沿って本文の構成と論理の展開を捉えようとしている。 ・筆者の問題提起と、問題解決に向けた主張を参考にして、「科学と技術と私たちとの関係」について考え、文章にまとめようとしている。 ・筆者の経歴や発表している短歌等を調べ、生と死に関する自分の考えを深めようとしている。 	<p>b</p> <p>b</p> <p>a</p> <p>a</p> <p>a</p> <p>c</p> <p>c</p>	
	<p>日本の労働問題に関わる資料を読み比べる</p> <p>2. 書くこと(2)</p> <p>3. 読むこと(1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・労働問題に関わる資料を読み比べて必要な情報を読み取り、複数の情報を関連づけて理解したことをまとめる。 ・情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたを理解し、活用する。 ・複数の図表を伴う文章を粘り強く読み、理解したことを学習課題に沿ってまとめようとしている。 ・複数の図表から読み取った情報を粘り強く吟味し、表現の仕方を工夫してまとめようとしている。 	<p>b</p> <p>a</p> <p>c</p> <p>c</p>	
	<p>スピーチで自分を伝える</p> <p>1. 話すこと聞くこと(2)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見を大勢の聞き手にわかりやすく伝えるスピーチの方法を理解し、実践する。 ・他の人のスピーチを聞き取り、評価する方法を学ぶ。 ・進んで材料を集めたり吟味したりし、今までの学習を生かしてスピーチを行おうとしている。 ・進んで表現や話し方を工夫し、今までの学習を生かして効果的に話そうとしている。 ・積極的にスピーチを聞き、評価シートを活用して評価しようとしている。 	<p>b</p> <p>b</p> <p>c</p> <p>c</p> <p>c</p>	
	<p>身近な製品の取扱説明書を作成する</p> <p>2. 書くこと(3)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を的確に説明する方法を理解する。 ・情報を相手にわかりやすく説明する方法を理解する。 ・わかりやすい説明を実践できるようになる。 ・教科書の例を参考に、説明や表現の仕方を工夫して、積極的に身近な製品の取扱説明書を書こうとしている。 ・書いた説明書を進んで批評し合い、批評を踏まえて文章の構成・展開や表現を工夫しようとしている。 	<p>b</p> <p>b</p> <p>b</p> <p>c</p> <p>c</p>	
3 学期 (20)	<p>不均等な時間（内山節）評論のしるべ</p> <p>1. 話すこと聞くこと(2)</p> <p>2. 書くこと(3)</p> <p>3. 読むこと(1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的事例から一般論への展開と、対比の構造とを手がかりとして、近代化と時間の合理性との関係を理解する。 ・近代における時間について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ・対比による推論を叙述を基に理解し、学習課題に従って要旨をまとめようとしている。 ・既習の評論と粘り強く読み比べ、積極的に持続可能な社会に関する意見文を書こうとしている。 	<p>b</p> <p>b</p> <p>a</p> <p>a</p> <p>a</p> <p>c</p> <p>c</p>	<p>定期考査や小テストの成績、授業中の態度・発表、レポート等各種提出物、振り返りシートなどから総合的に判断し、評価する。</p>
	<p>グローバル化の「遠近感」（上田紀行）評論のしるべ</p> <p>1. 話すこと聞くこと(2)</p> <p>2. 書くこと(3)</p> <p>3. 読むこと(1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「遠近感」の二重の意味を文脈から把握し、グローバル社会における問題を多様な視点から考える。 ・グローバル化について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・言い換えなどの修辞を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿ってまとめようとしている。 ・書き手の意図に対する自分の考えをもち、表現を工夫してまとめようとしている。 ・『「遠近感」をめぐる問題』について積極的に考え、学習課題に従ってまとめようとしている。 	<p>b</p> <p>b</p> <p>a</p> <p>a</p> <p>a</p> <p>c</p> <p>c</p> <p>c</p>	

	<p>学校新聞の記事内容を検討する</p> <p>2. 書くこと(4)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 与えられた資料と会話を関連づけながら、課題に即して必要な情報を読み取り、活用する。 情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたを理解し、活用する。 異なる形式で書かれた複数の文章を粘り強く読み、理解したことを学習課題に沿ってまとめようとしている。 複数の文章から読み取った情報を粘り強く吟味し、文章の構成に注意してまとめようとしている。 	<p>b</p> <p>a</p> <p>c</p> <p>c</p>	
	<p>理想の修学旅行をプレゼンする</p> <p>1. 話すこと聞くこと(3)</p> <p>2. 書くこと(1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 情報を大勢の聞き手にわかりやすく説明するプレゼンテーションの方法を理解し、実践する。 効果的なスライドの作り方を理解する。 今までの学習を生かして相手・目的・場面を考慮し、積極的にプレゼンテーションを行おうとしている。 進んで表現や話し方を工夫し、今までの学習を生かして効果的に話そうとしている。 協働して資料や機器を用い、相手の理解を得られる工夫をしようとしている。 積極的にプレゼンテーションを聞き、評価の観点に沿って評価しようとしている。 	<p>a</p> <p>a</p> <p>c</p> <p>c</p> <p>c</p> <p>c</p>	
1. 話すこと聞くこと(21時間) 2. 書くこと(32時間) 3. 読むこと(11時間) 計64時間(55分授業)				
評価規準と評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。	
<p>[評価方法]</p> <p>以上の観点を踏まえ、定期考査や小テストの成績、授業中の態度・発表、レポート等各種提出物、振り返りシートなどから総合的に判断し、達成率が80%以上をA、79～50%をB、50%未満をCと評価する。</p>				